

## 「がん診療提供体制のあり方に関する検討会」開催要綱

### 1. 趣旨

全国どこでも質の高い医療を受けることができるよう、がん医療の均てん化を推進するため、がん診療連携拠点病院（以下「拠点病院」という。）の整備が進められ、平成24年4月1日現在397施設が指定されている。

しかし、拠点病院の診療実績の格差、診療・支援の内容が分かりやすく国民に示されていないこと、さらに高齢化社会やがん患者の多様化するニーズを踏まえ、拠点病院以外の医療機関との連携や在宅医療・介護サービスの提供も重要なことなどいくつかの課題が指摘されている。

本検討会においては、こうした課題を踏まえ、今後のがん診療提供体制のあり方について、各地域の医療提供体制を踏まえ検討することとする。

### 2. 検討事項

- (1) 拠点病院の指定要件の見直し
- (2) 地域におけるがん診療のあり方について
- (3) 国民に対する情報提供のあり方
- (4) 拠点病院等の客観的な評価

### 3. その他

- (1) 本検討会は健康局長が別紙の構成員の参考を求めて開催する。
- (2) 本検討会には、構成員の互選により座長をおき、検討会を統括する。
- (3) 本検討会には、必要に応じ、別紙構成員以外の有識者等の参考を依頼することができるものとする。
- (4) 本検討会は、原則として公開とする。
- (5) 本検討会の庶務は、厚生労働省健康局がん対策・健康増進課が行う。
- (6) この要綱に定めるもののほか、本検討会の開催に必要な事項は、座長が健康局長と協議の上、定める。

「がん診療提供体制のあり方に関する検討会」構成員名簿

伊藤 朋子 声を聴きあう患者たち＆ネットワーク「VOL-Net」代表

今村 聰 社団法人日本医師会副会長

緒方 真子 神奈川県立がんセンター患者会「コスマス」世話人代表

神野 正博 社団法人全日本病院協会副会長

北島 政樹 学校法人国際医療福祉大学学長

佐々木 淳 宮城県健康福祉部次長

篠 道弘 静岡県立がんセンター薬剤部長

田村 和夫 学校法人福岡大学医学部腫瘍・血液・感染症内科学教授

中川 恵一 国立大学法人東京大学医学部附属病院放射線科准教授

西山 正彦 国立大学法人群馬大学医学系研究科医科学専攻  
病態腫瘍制御学講座病態腫瘍薬理学分野教授

平岡 真寛 国立大学法人京都大学放射線腫瘍学・画像応用治療学教授

堀田 知光 独立行政法人国立がん研究センター理事長

松月 みどり 公益社団法人日本看護協会常任理事

横山 晶 新潟県立がんセンター院長

吉川 幸伸 独立行政法人国立病院機構吳医療センター・中国がんセンター外科系診療部長

(五十音順)